


平成 23 年 9 月 1 日

日本 AEM 学会  
会長 榎園 正人 様

特定非営利活動法人  
日本保全学会  
会長 宮 健三



日本保全学会「第 8 回学術講演会（特別編）」協賛名義使用のお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当学会の事業につきましては、恒々ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当学会では、平成 23 年 7 月 12 日(火)、13 日(水)、14 日(木)に、柏崎市産業文化会館及び柏崎市民プラザにおいて開催することになっておりました第 8 回学術講演会を、東北地方太平洋沖地震の影響、および福島原子力発電所の状況等を鑑み、3 月 25 日に、中止とさせて頂きましたが、時期と場所を変え、10 月 21 日(金)に、学士会館(東京都千代田区神田錦町 3-28)において開催することとなりました。

つきましては、別紙の通り、協賛団体として貴学会名義使用のご承諾を賜りますようお願い申し上げます。

なお、運営上の処理につきましては一切ご迷惑はおかけいたしません、貴学会にもご案内申し上げたく存じますので、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

また、協賛をご承諾頂きました場合には、貴学会名を、弊学会ホームページの学術講演会案内欄と予稿集に掲載させて頂き、ご承知頂きますと幸いに存じます。

お手数ですが、同封の回答用紙にて貴意を 9 月 26 日までにお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴学会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

敬具

## 日本保全学会 第8回学術講演会(特別編)

### —開催案内と原稿募集—

この度の東北地方太平洋沖地震の津波により福島第一原子力発電所が被災し、原子力災害を引き起こす結果となりました。既にご承知の通り、日本保全学会では今夏に開催予定の第8回学術講演会を中止いたしました。しかし、技術の進歩は常に営まれるものであり、多くの皆様方には保全に関連した研究活動の成果を報告する準備をされて来られたものと推察いたします。

そこで、研究の成果を論文として公開し、議論する機会を作るのが学会の役割でもあり、第8回学術講演会を特別編として設けて、投稿論文を募集し、希望によりポスターセッションにて意見交換、議論をできるようにしたいと考えるものであります。投稿いただいた論文は、原則論文集として広く公開するものであります。

特別テーマとして、「福島第一原子力発電所関連」を設定し、自由な意見交換を行いたいと企画しました。ふるってご参加いただきたくご案内いたします。

#### ◆会場案内

会 期： 2011年10月21日(金)  
会 場： 東京 学士会館(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目28)

#### ◆特別企画

- ①特別講演「福島原発事故から見えるもの」(関村直人氏)(10:00~11:00)  
「福島原発事故への学会としての取り組み」(高木敏行氏)(11:00~12:00)  
②パネル討論会「エネルギーのベストミックスとは?」(13時30分~17時00分)

基調講演：澤昭裕氏(経団連21世紀政策研究所研究主幹・NPO法人国際環境経済研究所所長・三澤株式会社代表取締役会長)

パネリスト：澤昭裕氏

熊谷貞俊氏(民主党衆議院議員)

奈良林直氏(北海道大学大学院教授 工学研究科エネルギー環境システム専攻)

瀬川浩司氏(東京大学教授 先端科学技術研究センター)

#### ◆一般投稿

##### A. 一般テーマ

- ①保全科学 (保全理論、数理保全ほか)  
②保全工学 (検査システム、事象分析、保全シミュレータほか)  
③保全技術 (材料技術、検査技術、劣化診断、溶接・補修技術、設計ツールほか)  
④保全社会学 (リスク分析、ヒューマンファクター、コミュニケーションほか)  
⑤保全最適化 (運転管理、保全品質、定期検査合理化ほか)  
⑥保全規格基準 (標準、ガイドラインほか)

##### B. 選別テーマ

- ①設備利用率向上  
②もんじゅ  
③次世代軽水炉  
④国際展開  
⑤高齢年化対策  
⑥地震・耐震  
⑦状態監視

##### C. 特別テーマ

- ①福島第一原子力発電所関連(原子力安全、津波ほか)

本年度より、オンライン投稿(pdf・word  
両ファイル提出)となりました。  
詳細は、学会HPをご覧ください。

<http://www.jsm.or.jp/jsm/>

◆お申込について

- 講演・参加： 学会HPからお申込みください
- 講演申込締切： **2011年7月29日（金）**
- 原稿提出締切： **2011年8月31日（水）**
- 原稿提出要領： 講演原稿は、日本保全学会誌の執筆要項に添って、1ページ2000文字程度として2～6ページまでにまとめ、学会HPよりご投稿ください（カラー原稿は受け付けませんのでご注意ください）。書式は、学会HPからダウンロードすることができます。学術報告のほか、技術報告も受け付けます。なお、日本保全学会誌のレギュラーペーパーとして投稿を希望される場合には、査読プロセスを経た後、掲載致します。投稿については、別途、提出願います。
- 参加申込締切： 2011年10月21日（金）当日まで
- 参加登録料： 【正会員】8,000円                      【学生会員】0円                      【一般学生】1,000円  
                  【法人会員】8,000円                      【非会員】10,000円
- ★収益の一部は、東北地方太平洋沖地震被災地への義援金として寄附させていただきます
- 懇親会： 学会功労賞表彰式と併せて18時より開催（会費6,000円）

**第8回学術講演会特別編 詳細・最新情報は保全学会HPをご覧ください。**

日本保全学会HP (<http://www.jsm.or.jp>)

日本保全学会

〒110-0008 東京都台東区池之端2-7-17

電話：03-5814-5430 Fax：03-5814-6705 E-mail：secretariat@jsm.or.jp